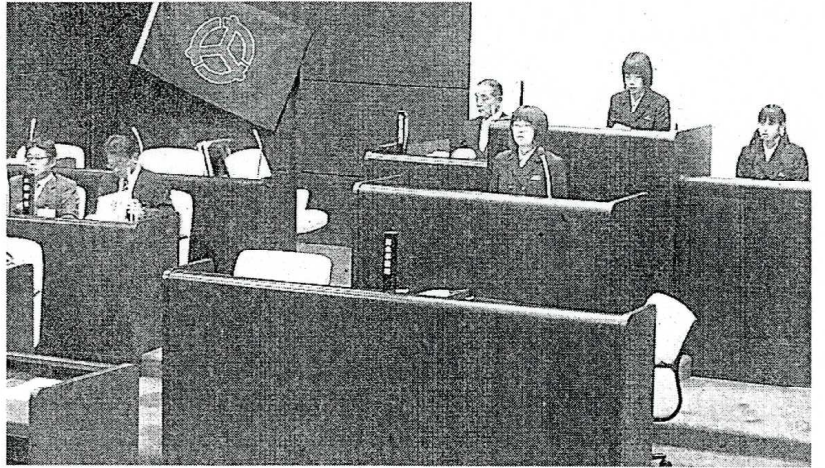


上峰町で中学生議会



上峰町議会であった「上峰中学校子ども議会」

中学生が一日町議になり町政の課題を執行部に質問する「上峰中学校子ども議会」が14日、上峰町議会で開催された。中学生議員らは雇用やゴミ処理問題など、町の課題を事前に自分たちで調べて質問で取り上げた。

同子ども議会の開催は4年ぶり。3年生

約100人の中から町議12人が選ばれ、議場で大川隆城町議長から辞令を受けた。そして交代制の議長2人を選び、会期日程を1日と決め質疑に入った。

演壇に上がった10人の議員は交通安全と防犯の対策、町内の雇用実態、ゴミ処理とリサ

イクルの現状、高齢者福祉や子育て支援などさまざまな質問を武広勇平町長ら執行部に浴びせ「上峰をPRする観光大使やキャラクターを作っては」と具体的な提案も。

中学校への通学路が

狭く、街路灯も少ないと指摘した古川雄太郎君(15)は「日ごろから感じていたことを取り上げました。1番目の質問で緊張したけど、終わってホッとしました」と話した。

【馬場茂】